

(伊豆市共催) 文学の集い in天城



2/ 9(木) 2/10(金)	文学散歩しろばんばの里【要申込 定員15名】 集合：天城会館 井上靖の小説『しろばんば』に登場する洪作少年にゆかりのある宿区をまわります。 (参加費1,000円、見学場所：湯ヶ島温泉周辺)
2/12(日) 2/13(月)	宿の主が語る文学散歩【要申込 定員15名】 集合：天城会館 文人墨客が訪れた湯ヶ島の宿を巡り、宿の主がご案内致します。 (参加費1,000円、見学場所：白壁・湯本館・おちあいろう・弘道寺・天城神社・上の家)

●申込み・お問い合わせ先 天城湯ヶ島温泉旅館組合/0558-85-1055

2/4(土) 2/5(日)	如月朗読会【要申込 定員30名】 会場：夕鶴記念館 8名の語り部が井上靖の作品を中心に朗読します。(入場無料)
------------------	---

2/12(日)	みんなで楽しむ『絵本コンサート』【要申込 定員40名】 会場：夕鶴記念館 映像・音楽・朗読のコラボレーションで楽しいひとときをお過ごしください! 「鶴の恩返し」などの童話の朗読。ご家族で楽しめます。(入場無料)
---------	--

2/23(木・祝)	「文学の郷 天城」を語る会【要申込 定員50名】 会場：伊豆市役所天城湯ヶ島支所 地元の文学愛好家が一堂に会して、天城に所縁のある文学作家について語り合います。 第1部「牧水について講話」講師：野毛孝容氏(牧水荘土肥館会長) 第2部 天城を語る会 テーマ「文士と酒と恋」 (入場無料)
-----------	--

3/5(日)	湯ヶ島を愛した作家「川端康成」没後50年記念行事【要申込 定員150名】 会場：天城会館 ●川端康成学会事務局 内田裕太氏による講演会 ●美空ひばり主演映画『伊豆の踊子』を上映
--------	---

2/3.4.5.9.10 12.13.18.19 3/4.5	井上靖の老家「上の家」公開 公開時間：10～15時 『しろばんば』に登場する洪作少年の老家にあたる「上の家」を公開します。 ※お菓子、お茶のおもてなし付き。(建物維持協力金400円)
--------------------------------------	--

●申込み・お問い合わせ先 伊豆市観光協会天城支部/0558-85-1056

3/11(土)	伊豆文学まつり【要申込】 会場：修禅寺 ●文学ミニツアー 地元ガイドと夏目漱石ゆかりの地を歩く ●朗読会 語り部 平野啓子氏による夏目漱石『夢十夜』、『竹取物語』の朗読 ●夏目漱石ゆかりの洋風特製弁当を販売
---------	---

●申込み・お問い合わせ先 一般社団法人 伊豆市産業振興協議会/0558-72-7007



事前申込制
入場無料

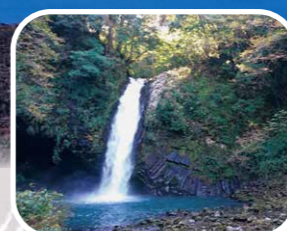
伊豆文学 フェスティバル

参加者
募集!

第26回伊豆文学賞表彰式・伊豆文学塾



伊豆文学塾出演作家(予定)



審査員

太田 治子



今村 翔吾

第19回
伊豆文学賞受賞
第166回
直木賞作家

日時：令和5年3月12日(日)
14:00～16:30

会場：修善寺生きいきプラザ
(伊豆市小立野66-1)



主催：静岡県、静岡県教育委員会、伊豆文学フェスティバル実行委員会
共催：伊豆市 後援：文化庁、読売新聞東京本社、伊豆新聞本社
協賛：スルガ銀行 協力：静岡県書店大賞実行委員会



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA

1 第26回伊豆文学賞表彰式

14:00~14:40

伊豆文学賞各部門入賞者の表彰式を行います。

2 伊豆文学塾

14:50~16:10

第1部 特別講演 太田治子氏による講演会

第10回から審査員を務める、太田治子氏が登壇。

第2部 特別講演 今村翔吾氏による講演会

第19回伊豆文学賞小説・随筆・紀行文部門で最優秀賞を受賞し、2022年1月に『塞王の楯』で第166回直木三十五賞を受賞した今村翔吾氏が登壇。

※講演の内容について、変更となる場合がございます。



太田治子



今村翔吾

伊豆文学フェスティバル出演予定者

※出演者は変更になる場合があります



村松友視

1940年東京生まれ。幼少期から高校までを旧清水市で過ごす。出版社勤務を経て、文筆活動に入る。1982年『時代屋の女房』で第87回直木賞を受賞。1997年『鎌倉のおばさん』で第25回泉鏡花文学賞を受賞。『百合子さんは何色』、『アブサン物語』、『幸田文のマッチ箱』、『淳之介流ーやわらかい約束』、『俵屋の不思議』、『帝国ホテルの不思議』などの作品を精力的に発表。最新刊に、『老人流』(2019年11月河出書房新社)、『ゆるる階』(2022年10月河出書房新社)など。第1回から伊豆文学賞審査員。



嵐山光三郎

作家。1988年『素人庖丁記』で第4回講談社エッセイ賞、2006年『悪党芭蕉』で第34回泉鏡花文学賞及び第58回読売文学賞を受賞。第10回から伊豆文学賞審査員。最新刊に『生きる!』(2020年7月新講社)、『「世間」心得帖』(2021年10月筑摩書房)、『超訳 芭蕉百句』(2022年9月筑摩書房)。



諸田玲子

作家。2003年『其の一日』で第24回吉川英治文学新人賞、2007年『奸婦にあらず』で第26回新田次郎文学賞、2012年『四十八人目の忠臣』で第1回歴史時代作家クラブ賞(作品賞)を受賞。第22回から伊豆文学賞審査員。最新刊に『ひと夜の恋-元禄お犬小屋異聞』(2022年6月中公文庫)。『麻阿と豪』(2022年10月PHP研究所)。



太田治子

作家。父は太宰治、母は『斜陽日記』の太田静子。1986年『心映えの記』で第1回坪田譲治文学賞を受賞。第10回から伊豆文学賞審査員。近著は、『湘南幻想美術館-湘南の名画から紡ぐストーリー』(2019年10月、かまくら春秋社)。



中村直美

(株)交通新聞社常務取締役コミュニケーションデザイン事業部長。2010年まで月刊「旅の手帖」編集長。三重・長崎など全国で地域ツーリズム振興に携わる。第14回から伊豆文学賞審査員。

同時開催!!特別企画『伊豆文学バスツアー』

テーマ『伊豆文学と井上靖』

案内人『井上靖文学館 徳山学芸員』

井上靖文学館の徳山学芸員と共に、伊豆文学にまつわる施設を巡ります。

料金3,000円(昼食付き)

詳細は伊豆文学賞ホームページをご覧ください。

(URL:info@izufes.net)



徳山加陽

井上靖文学館

1973年(昭和48年)開館。今年で開館50周年を迎える。

井上靖の初版本や限定本、原稿や万年筆といった愛用品など約3,000点の資料を所蔵しており、企画展や講演会、ワークショップを実施するなど井上靖の作品を読み継ぐ活動を行っている。

(所在地:静岡県駿東郡長泉町東野515-149)

申込 本イベントは事前申込制です。

申込方法 氏名(ふりがな)、郵便番号、住所、電話番号を記入の上、「3月12日伊豆文学フェスティバル参加希望」を明記の上、はがき、FAX、Eメールのいずれの方法でお申込ください。

※定員(400名)に達し次第、締め切ります。(先着順)

※申込完了のお知らせや参加票の発送はありません。

申込・問合せ 伊豆文学フェスティバル実行委員会事務局

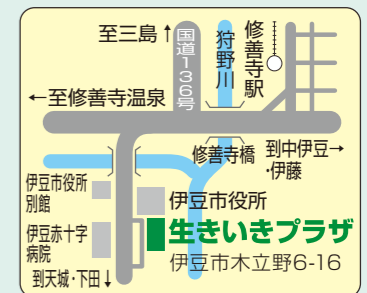
〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6静岡県文化政策課「伊豆文学賞」係

TEL: 054-221-3109 FAX: 054-221-2827 メール: info@izufes.net

修善寺生きいきプラザまでのアクセス

JR三島駅で伊豆箱根鉄道駿豆線に乗車(約40分)→修善寺駅から徒歩10分

※駐車場の台数には限りがありますので、御参加の際は公共交通機関で御来場ください。



●感染症の状況等により、イベント内容やスケジュール、出演者が変更、又は開催中止になる場合がありますので予めご了承ください。